

平成20年 ローソクボツケ分布量調査結果速報

北海道立稚内水産試験場資源管理部 電話：0162-32-7166

- 稚内水試では試験調査船北洋丸により、毎年9月と10月に稚内ノース場の3つの漁区で着底トロール調査を行い（図1）、ローソクボツケ（0歳魚）の分布量調査を行っています。着底トロールの曳網は原則として各漁区で2回、合計6回行います。この調査の目的は、新しく資源として加わる0歳魚の分布量を早いうちに評価し、資源の将来予測に役立てることです。今年は9月7日と9月29日～10月2日に調査を行いました。
- 調査は2003年から始められました。図2に2003年から2007年までに稚内ノース場で採集されたホツケの体長を示しました。今年（2008年）は体長約23cmを境に大小2つの群れが確認されました。小さい群れがローソクボツケです。今年のローソクボツケの分布量は、9月には昨年とほぼ同じでしたが、10月の分布量は昨年よりも大きく減少し、過去5年間と比較しても少ない分布量と推定されます（表1）。
- 水産試験場では11月にも同じ調査を行うとともに、今後も各漁場におけるホツケ漁の状況を注視していきます。

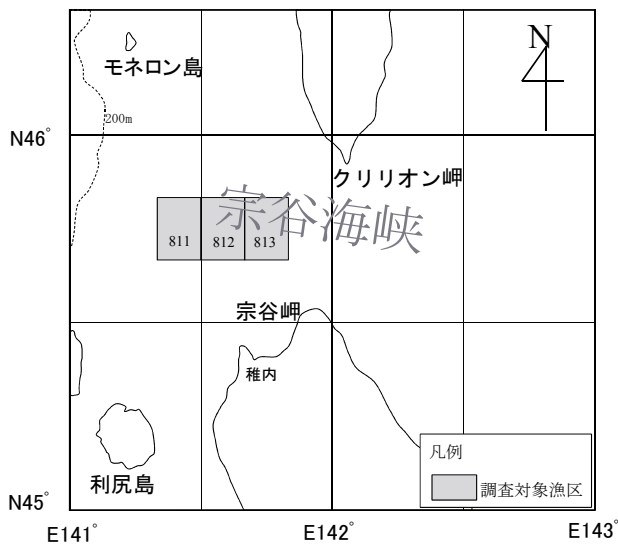


図1. 調査海域

表1.着底トロール30分曳き当たりの0歳魚の平均漁獲量(kg/N.M)

調査年	9月	10月
2003年	71.0	147.7
2004年	1.6	22.8
2005年	114.2	185.9
2006年	0	0.1
2007年	23.6	213.6
2008年	19.9	18.4

分布(%)

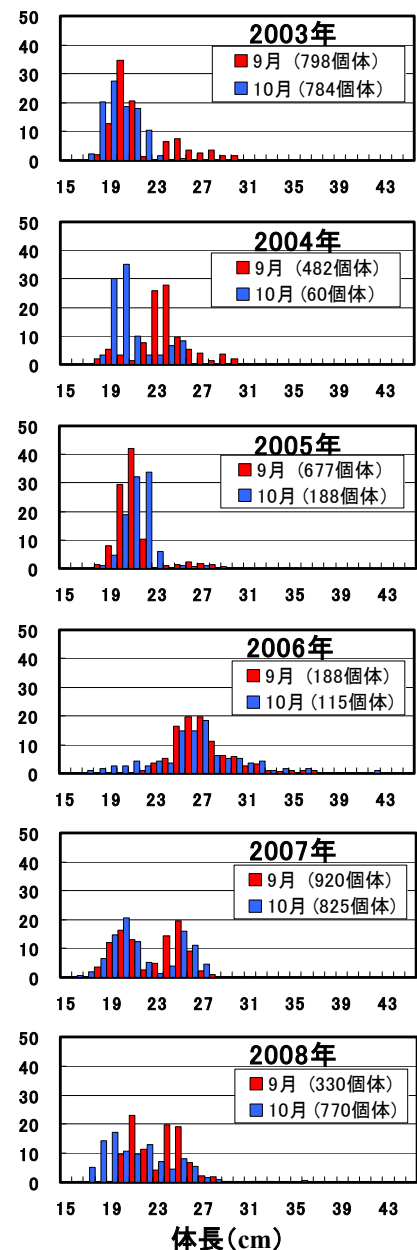


図2. 採集されたホツケの体長